



石岡美久 デザイナー

1987年東京出身。
 2006年バンタン デザイン研究所入学。
 同年自身のブランド algorithm 設立。
 原宿にて委託販売開始。
 レディガガ、リアーナ、ニッキーミナーージュ、国内では安室奈美恵、EXILE、倅田来未など、様々なアーティストが衣装や私服で使用。
 2017年札幌に拠点を移し、セレクトショップ"ゲノム札幌"を立ち上げる。
 2019年、札幌スマイルアワード大賞受賞
 現在、衣装デザイン、製作の他、ドレスブランドや、車椅子でも簡単に着れる着物ブランドの立ち上げ、服飾専門学校 DOREME、札幌太谷大学にてファッションの非常勤講師も勤めている。
 algorithm は東京、大阪、札幌の他、ベルリンでも展開している。



田仲ハル (舞踏家)

1980年初頭より北方舞踏派全国ツアー参加。のち複数の舞踏カンパニーの旗揚げに参加。
 近年は共演のために海外からアーティストの来日が相次いでいる。
 ロシアのノボシビルスク国立大学の文化人類学科やポーランドのウッチ芸大で研究対象になるなど、活動の幅は舞踏にとどまらない。
 2017年札幌国際舞踏フェスティバル招聘。つくば国際アーティストインレジデンス招聘。
 2018年台湾インターナショナルダークネスダンスフェスティバル招聘。
 2018年より現在まで毎年北海道舞踏フェスティバル招聘。



Syv Bruzeau

フランス生まれの『シブ』は内省的な実践、自然、痛み、経験から影響を受け踊る舞踏ダンサーです。舞踏を勉強しパフォーマンスし始めたのは11年前。この個性的で芸術的なフォームは彼女に変化や影響をもたらした。主にヒマラヤの学校 Subbody Butoh Method で学んだ。またニューヨークや日本で和栗由紀夫、中嶋夏、竹之内淳志、EIKO & KOMA、Vangeline などのワークショップに参加。



明夜 (AkiYo) 舞踏手 コスチュームモデル

2017年より舞踏家田仲ハル氏に師事する。
 舞踏集団、極北会に所属し、北海道舞踏フェスティバル(小樽、函館、帯広、札幌、台湾)トピウキャンパ等に舞踏手として出演。
 2019年アルゴリズムのモデルとして、ストリートファッションショーに出演し、白塗りで舞踏しながらランウェイを歩く。
 2020年北海道舞踏フェスティバルの舞踏展でアルゴリズムのモデルを務め、田仲ハル氏と共演で、撮影に参加する。
 2020年アルゴリズムのPV作成にモデルとして、羊蹄山山麓や赤井川の秘境湖で撮影に参加する。



Yoshinori Kikuzawa 仙人、舞道家、舞道場渦 UZUSEN 代表

カボエイラ、武術、格闘技の持つ、流れ・気・修行法を、ストリートダンスとの融合を具現化。2017年自然山岳鍛錬を取り入れた舞道場渦仙UZUSENを創立。脱力した状態での身体の内芯、各部位をねじり、円周運動を利用して身体の流れを構築するメソッド、UZUを創案
 WEBSITE <https://www.uzusen.com>



KIM YOOI

北海道教育大学岩見沢校芸術課程芸術文化コース卒業。
 吉武裕二(プロデューサー)/KIM YOOI(ミュージシャン)として活動中。
 10代前半からサクソスははじめ、大学在学中は田野城寿男氏に師事、2016年前衛サクソス奏者吉田野乃子氏との出会いにより、前衛音楽・フリーインプロヴィゼーションに傾倒する。また同時期に札幌を拠点とし北の至宝と呼ばれるミュージシャン KUNIYUKI TAKAHASHI 氏の影響を受け即興とダンスミュージックを組み合わせたマシーンライブセットを志す。
 プロデューサーとしてはこれまでにサカナクション主催イベント SAKANATRIBE(2016)、JOIN ALIVE 等にてエリアプロデュースを行う。

Music

Model

特別展「舞踏と美術 田仲ハルと舞踏に魅せられた美術家たち<小樽晩夏光>」

2021年8月21日(土)~9月23日(木・祝)

9:30~17:00 (入館は16:30まで)

*8/21(土)・9/23(木・祝)は夜間開館(~19:30)

一般700円、高校生・市内高齢者350円、中学生以下

 市立小樽美術館
otaru city museum of art

〒047-0031 小樽市色内1-9-5
Tel:0134-34-0035 Fax:0134-32-2388

| | | |
|--------------|-----|-----------|
| JR函館本線 | | 小樽駅 |
| ●小樽経済センター | | |
| ●商業会館 | 長崎屋 | ●サンビルスクエア |
| 都通り | | |
| ●オーセントホテル小樽 | | |
| 金融資料館(旧日本銀行) | | ●市立小樽美術館 |
| ●郵便局本局 | | ●ニトリ美術館 |
| 小樽運河 | | |